

河内の散策(75) 白ヶ瀬浄水場

今回は、魚切地区にある白ヶ瀬浄水場を紹介します。

この浄水場は、広島市佐伯区、廿日市市大野町および宮島町の水需要に対処するため、魚切ダムを水源に、「八幡川水道用水供給事業」として昭和48年度に着工し、昭和56年度(1981年)に白ヶ瀬浄水場の整備が完了しました。

この事業は、その後地域の急激な都市化と、大竹市を給水対象に加えたことから、昭和57年3月に「広島西部地域水道用水供給事業」に名称変更し、小瀬川に建設された弥栄ダムを新たに水源に加え、計画給水量は1日に12万3000m³で、現在3市へ給水を行っています。(尚、白ヶ瀬



浄水場の給水能力量は1日に6万7000m³となっています。この一帯は、自然豊かな野山と田園に八幡川の清流と、心を和ませてくれます。文責 杉田精司

インフルエンザの季節到来

今年もインフルエンザの流行が心配な季節になりました。10月20日現在、広島市では、学級閉鎖などの流行は起きていませんが、全国的には発生している地域もあります。そこで、ニュース等で報道されていますが、インフルエンザワクチンについてまとめました。

①今年度はインフルエンザのワクチンの種類が変更になりました。

・昨年度まで使用していたワクチンは、3種類のウイルス型に有効でしたが、今年度から4種類のウイルス型に有効のワクチンに変更されました。より効果が期待されています。

②予防接種費用の助成があります。具体的な対象者は、

・広島市に住民登録している65歳以上の方。60～64歳の人でも障がい者手帳をお持ちの方は対象になる場合があります。その場合の自己負担額は、自己負担金1600円

・生活保護世帯及び市民税の所得割非課税世帯に属するは、自己負担金が免除。

ただし、接種時に確認できる書類を持って医療機関を受診する必要があります。(いったん医療機関で支払

た接種費用は、接種後に広島市から返還する制度はありません)

③助成制度が適応となる接種期間は平成28年1月31日までです。免疫がつくまでに1か月程度かかりますので早めに接種を受けるようにしてください。

インフルエンザにかかる、法律により、学校や幼稚園、保育園への出席停止となりますので、必ず医師の指示に従ってください。また、広島市のホームページにも掲示してありますので参考にしてください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/>

佐伯区健康長寿課保健予防係
直通(943) 9731

11月の行事



1日(日) 文化祭
2日(月) 売却資源・ゴミ収集日
13日(金) まごころ弁当
16日(月) 売却資源・ゴミ収集日

社協部長会・会報委員会

22日(日) 編集日
27日(金) まごころ弁当

12月5日(土) 花の植栽



安心安全なまちづくり年末大会
(イルミネーション点灯)



私の思い 「児童館について」

児童館は、小学生・中学生が自由にやってきて、自由に遊ぶことができる子どもたちのための福祉施設です。なお、保護者同伴であれば乳幼児も利用できます。また、広島市の児童館には、学童保育の場として「放課後児童クラブ」を併設しています。この形は全国でも珍しく、放課後児童クラブ児童と一般来館児童と一緒に遊ぶことができ、より豊かな仲間づくりができるという利点があります。集団遊びを通じて、ルールを守らないと遊びが壊れることを知ったり、加減の大切さを体験したり、痛み、悔しさ、喜び、満足感など味わったり：とたくさんの経験をしています。大人数ごちゃ混ぜになつて遊ぶ中で人間と人間とが触れ合い、ぶつかり合つてこそ生きる力が育ちます。ゲーム機やパソコン、スマホ等新しい機器が子ども達の世界にもどんどん入り込んでいきますが、人との適度な距離がとれず、コミュニケーションが苦手な青少年が増えて来ているとも聞きます。これからの地域の力、皆様の支えを頂きながら子ども一人ひとりが主体的に活動し、たくさん体験ができる場を提供していきたいと思っています。

河内児童館館長 原田由美子